

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科		科目	単位数	履修上の留意点		
理科		科学と人間生活（前期）	2	・既に同一科目を修得しているものは受講できない。		
指導目標	① 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関りについての理解を深め、科学的に探究するための思考を身につける。 ② スクーリングなどを通して、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
教科書			副教材等		添削指導	面接指導
東京書籍『改訂版 科学と人間生活』			NHK高校講座「科学と人間生活」 NHK for School		6回	8 単位時間
メディア視聴減免実施の有無			☒	実施している		☐ 実施していない
メディア減免 視聴メディア及び視聴日程					メディア減免報告課題提出締切	
NHK高校講座「科学と人間生活」 ※オプション参照					5/29（金）、6/30（火）、7/31（金）	
レポート（学習報告書）						
回	学習内容					提出期限
1	微生物と人間生活（第1編 第1章 微生物とその利用） ・身の回りに存在する微生物の働きや、発酵・医療品などへの利用を通して、微生物と人間生活の関わりを理解する。					唐 5/7 佐・月5/13
2	材料とリサイクル（第2編 第2章 材料とその再利用） ・金属やプラスチックの性質と再利用の方法を学び、資源循環や3Rの考え方を人間生活と関連付けて捉える。					唐 5/27 佐・月6/3
3	熱の性質と利用（第3編 第2章 熱の性質とその利用） ・原子や分子の熱運動と温度の関係を理解し、熱の伝わり方や比熱、熱の利用について身近な例から考える。					唐 6/17 佐・月 7/8
4	エネルギーとくらし（第3編 第2章 熱の性質とその利用） ・さまざまなエネルギーの変換や有効利用について理解し、持続可能な社会と科学技術の関わりを考察する。					唐 6/17 佐・月 7/8
5	自然景観の成り立ち（第4編 第2章 自然景観と自然災害） ・地球内部の働きや太陽エネルギーによって形成される地形や景観の成り立ちを理解し、自然の変化を捉える。					唐 7/15 佐・月7/22
6	自然災害と防災（第4編 第2章 自然景観と自然災害） ・地震・火山・気象災害の仕組みを理解し、防災・減災の視点から自然災害と人間生活の関わりを考える。					唐 7/15 佐・月7/22
スクーリング（面接指導）						
月	学習内容					実施日
4	微生物と人間生活 身の回りに存在する微生物の具体例を取り上げ、生態系や人間生活との関わりを資料や事例をもとに確認し、理解を深める。					唐津 4/19 佐賀 4/26 月曜 4/27

5	材料の性質と再利用 金属やプラスチックの性質を比較し、リサイクルの方法や利点を事例から整理し、資源循環の考え方を共有する。	唐津 5/10 佐賀 5/17 月曜 5/18
6	熱の性質と伝わり方 熱の伝わり方やエネルギーの変換について、図や結果を用いて整理し、身近な生活の中での利用と結びつけて理解する。	唐津 5/31 佐賀 6/21 月曜 6/22
7	自然景観と自然災害 地形や災害の事例を資料から読み取り、自然景観の成り立ちや防災・減災の考え方を対話を通して整理する。	唐津 6/28 佐賀 7/5 月曜 7/6
集中S	科学と人間生活の内容を扱った実験・演習 化学や生物分野などの観察や実験をともなう実習に取り組み、これまでに学習した科学と人間生活の内容を総合的に整理する。	全課程 7/12(日) 7/13(月)
8	科学と人間生活の振り返り これまでに学習した科学と人間生活の内容について、要点の整理や問題演習を行い、自身の理解状況を確認しながら知識の定着を図る。	唐津 8/23 佐賀 8/30 月曜 8/31
試験		
前・後期	試験範囲	実施日
前期	レポート第1回～第6回	唐津 8/23 佐賀 8/30 月曜 8/31
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
○レポートの全6回をすべて合格していること。 ○面接時数8時間を満たしていること（ただし、放送視聴による減免の場合は4時間）。 ○総合評価はレポート、スクーリング、テストを総合的に評価し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに3段階（A,B,C）で行う。 ○総合評価が評定2以上であること。		

※オプション

放送視聴		
回	学習内容	提出期限
1	【1～7】微生物のはたらきや材料の性質を通して、資源の利用や環境とのかかわりを学び、科学が人間生活を支えていることを理解する。特に次の番組について放送視聴票を提出する。「1 SDGsがひらく未来」,「2 微生物との共生」,「3 ノーベル賞学者 大村 智」,「7 リサイクル」	5/27(水)
2	【8～15】熱の性質やエネルギーの変換について学び、身近な現象や生活の中でのエネルギー利用との関係を整理する。特に次の番組について放送視聴票を提出する。「8 スマートフォンのメカニズム」,「9 プラスチックの科学」,「14 エアコンのメカニズム」,「15 発電のしくみ」	6/24(水)
3	【16～20】自然景観の成り立ちや自然災害の仕組みを理解し、防災・減災の視点から自然と人間生活の関わりを考える。特に次の番組について放送視聴票を提出する。「16 SDGsと物理」,「19 世界の絶景ポイント」,「20 地震と津波」,「13 自動運転のしくみ」	7/29(水)